記者発表資料

平成22年5月20日
秋田河川国道事務所

「道路維持管理費の更なるコスト縮減へ！！」

地域住民参加型のＶＳＰによる道路の施設の点検を行います

●ボランティア・サポート・プログラム（VSP）制度に、賛同していただいた下記のみなさんと協定を締結して、大切な道路を安全に、安心して利用していただくために、ボランティアによる道路の施設の点検を行います。

道路を構成する附属施設には、大切な橋やトンネルまた、歩道の防護柵や法面等々、数多くの施設が設置されております。全てを点検することは多額の経費が掛かることから、道路維持管理費の更なるコスト縮減を図るため、国土交通省を退職された地域の皆さんのご支援により、道路の施設の点検を行っていただきます。

また、豊富な経験と技術力をお借りしまして、早期に道路の異状箇所の発見などにご協力をいただき、未然に予防する活動を実施いたします。併せて秋田河川国道事務所技術系若手職員も同行のうえ、点検を行うことにより、技術力の伝承を図るということも目的としております。

記

実　施　日　　平成22年5月27日（木）（小雨決行。順延の場合は、5月28日（金））

出　発　式　　午後1時より　一般国道7号　秋田市新屋天秤野 地内
「秋田防災ステーション内」秋田南バイパス沿い

参　加　者　　秋田会 秋田地区委員会 点検実施者（8名）

関　係　者　　国土交通省　秋田河川国道事務所

【記者発表先】　秋田県政記者クラブ

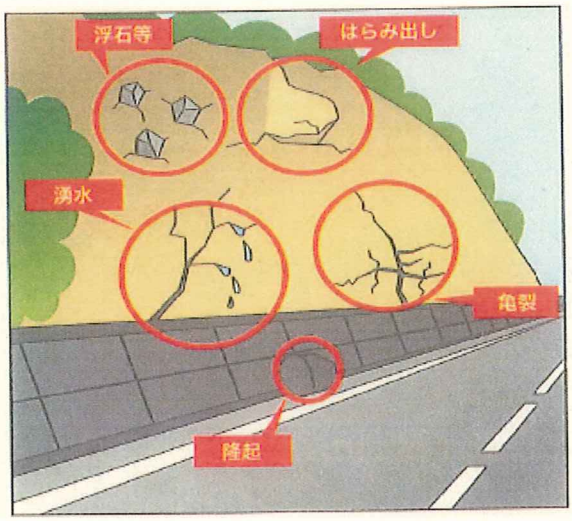
【問い合わせ先】

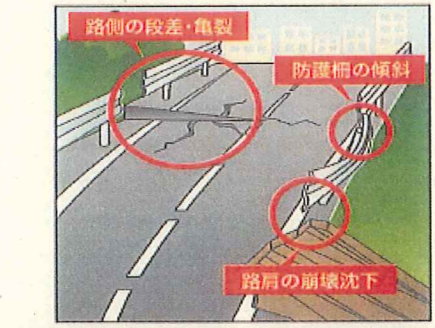
□国土交通省　東北地方整備局
※秋田河川国道事務所　電話018(864)2291　FAX 018 (864) 4405
副所長（道路）　佐藤　寿昭　内線 205
道路管理第一課長　渡邉　好和　内線 431
道路管理第二課長　岡部　武彦　内線 441

■ボランティア・サポート・プログラム（ＶＳＰ）とは？

地域や企業のみなさんに道路の美化清掃や道路の施設の点検等に参加していただき、みなさんと共に快適な道づくりを進めます。
道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという自然な気持ちを、形あるものにしようと考え出されたのが、「ボランティア・サポート・プログラム」です。アメリカでの、ボランティアの人たちが道路を我が子のように面倒を見ている「アダプト・ア・ハイウェイ・プログラム」からヒントを得ています。「みち」をきれいにしようという活動から始まって、地域コミュニティの活性化が期待できるような制度です（国が管理している国道が対象です。）。

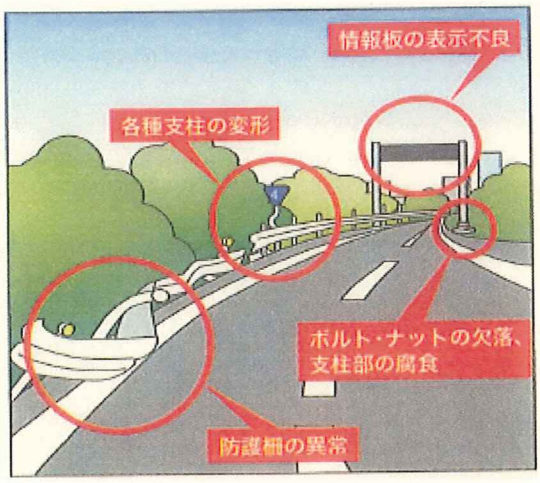
■道路の施設の点検の主なポイント

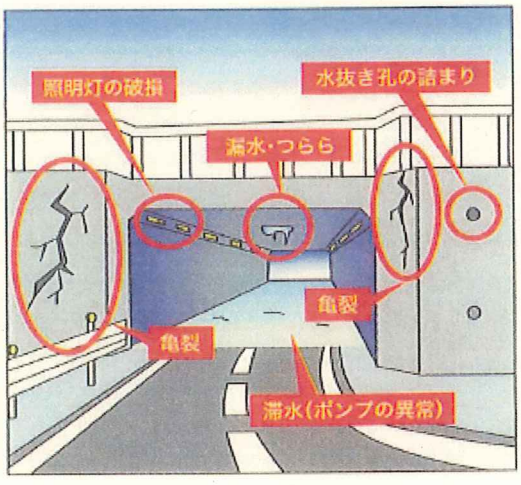





側溝蓋の脱落


安全施設設置状況





現地点検箇所箇所一覧の位置図

別　添

